

企業・団体名（株式会社はたらクリエイト）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）【R5.11.30様式改定】

カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合は選択入力	【予定】の場合は選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) ([非該当]を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目															
						1 はい	2 いいえ	3 どちらともいえない	4 どちらともいえない	5 いいえ	6 はい	7 どちらともいえない	8 どちらともいえない	9 はい	10 いいえ	11 どちらともいえない	12 どちらともいえない	13 はい	14 いいえ	15 どちらともいえない	16 どちらともいえない
1	【差別の禁止】 ・性別・年齢・障がい・国籍・出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			・雇用・教育・登用・福利厚生などあらゆる雇用条件で差別ない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している ・相談窓口を設置している					5.1 5.2 5.5		8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7		
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している ・相談窓口を設置している					5.1 5.2 5.5		8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			・多様な働き方ができる勤務体制の整備、労働生産性の改善、時間管理を行っている							8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本			・雇用・教育・登用・福利厚生などあらゆる雇用条件で差別ない体制を構築し、経営トップが積極的に関与している ・相談窓口を設置している		4.4					8.7 8.8		10.2 10.3							
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			・衛生委員会を設置し、従業員の健康維持のための取り組みや社内清掃などに力を入れている ・快適に仕事ができるよう照明、空調、椅子、会議室などを整備している	3						8									
人権・労働	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			・月に1度業務やワークライフバランスの満足度についてアンケート調査を実施。回答に応じてキャリアサポート・メンタルサポートを受けるように整備している ・社内にヘルスケアチームを設置し、相談窓口を開設している	3				5.1 5.5		8.5		10.2 10.3							
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性・外国人・障がい者・高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			・地方における女性のキャリア課題」に向き合ながら、女性の働き続けられるための組織づくり・文化醸成等、環境整備に取り組んでいる ・子育てや介護などと制約のある中でも仕事ができるよう託児所・介護施設・子育て出社制度、フレックスタイム制、在宅勤務などを導入している ・アフターステージに合わせて雇用形態を選択し、パートタイムから正社員雇用につながるステップを構築している					5.1 5.5		8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			・従業員全員を対象に、所属部署の必要に応じてスキル研修を受けられるよう整備している ・従業員が主体的動機づけで環境を整えている ・役職者に対する定期研修を行っている ・等級別研修の実施を予定している		4	5.5			8	9									
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			・パートタイム労働法、労働契約法などの改正内容を理解し、同一労働同一賃金などの原則に沿った体制を整備し、実施している				5.5		8.5		10.2 10.3								
0	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			・従業員に対し禁煙・サウナなどリフレッシュのためのアクティビティを提供し、常時利用できるようサポートしている	3					8										
環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			・自治体のルールに従い、廃棄物を適切に分別・処理している											11.6	12		14.1		
	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			・電気、ガスなどの使用料を把握している						7.3							13			
	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本			・夜間の業務が発生しないため、環境への負担軽減に貢献できている ・オフィス内の照明のほかすべてLEDに変え、省エネ、温暧化対策に努めている ・脱炭素経営の実現に向け、炭素会計アドバイザーの資格を取得に取り組んでいる					7.2 7.3						12.4	13.3				
	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			・法令などで規制されている有害化学物質を把握し、新規購入物に含まれていないことを確認している		3.9		6.3					11.6	12.4						
5	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合は選択入力	【予定】の場合は選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) ([非該当]を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目															
5	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			・環境への影響が少ないエコマーク製品などを優先的に購入している						6.6									15	
6	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			・空き店舗を利活用しオフィスを開設している ・従業員主導で子ども服や不用品のリサイクル活動を行っている												13	14.1			

17	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ			・水道の利用状況を把握している ・トイレに節水のための対策を導入している					6.4 6.6										
18 環境	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	【非該当】		取得予定なし		3.9		6	7				12	13.3	14	15			
19	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ			・中小企業版SBT認定の取得や自社の取り組み状況をHPで公開できる体制を構築している								12.6							
20	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】		・今後利用を検討する				7.2					13						
21	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ			・環境整備において県産の資源や古材などを積極的に調達するよう心にしている								12.2	13	14	15				
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			・汚職、贈収賄を禁止する旨を就業規則に明記し、従業員に周知している											16	16.5			
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			・不正競争行為を含む行動規範を就業規則に明記し、従業員に周知している											16				
24 公正な事業慣行	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本			・すべてのクライアントとNDAを締結することにより、知的財産の保護に取り組んでいる					8.2 8.3	9									
25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	【予定】		・個人情報に対するルールを定め、適切に管理するようセキュリティ自己点検を実施を予定している(2025年3月までを目標) ・「プライバシーマークを取得基準に沿って、個人情報を適切に管理している												16			
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	【予定】		・購入する物品について、紛争鉱物不使用であることを確認する ・紛争鉱物不使用(コンフリクト・フリー)について勉強会を開催する											16				
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナーなど、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ			・クライアントと対話を通じた人権侵害防止などの社会貢献活動への取り組み状況の確認活動を行っている			5		8	10	12	13	14	15	16	17			
28	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	【予定】		2026年4月までに宣言できるよう準備・検討を進める		3			8	9	10						17		
	チェック項目	取組レベル	【非該当】 の場合は 選択入力	【予定】 の場合は 選択入力	具体的な取組 (県などの取扱説明があれば、併せて記載) <small>(【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)</small>		主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目													
29	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			・サーバー設定、システムスキャンにより、高度なセキュリティを維持している		3.9						12.4							
30 製品・サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			・クライアントからの意見に迅速に対応できる体制を構築している						9									
31	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			・ペーパーレスを見据えたサービス設計を行っている				6				12	13	14	15				
32	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			・女性のキャリア断絶が起こりやすい地方特有の課題解決に向け、地方には選択肢が少ないIT・デジタル分野でサービスを展開している ・脱炭素社会実現に向け、企業の脱炭素経営をサポートする事業を開発している ・地方のDX支援を行う事業を開発している ・地方で未経験者を対象にスキル取得のための支援を行い、地域企業とのマッチングを行う事業を開発している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
33 社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			・自社メディアなどを通じて地域住民との関係性構築を積極的に行い、地域への影響を把握するよう心にしている ・地域での働き方の多様化、雇用の拡大に貢献している		4				9	11	12	14	15		17			
34	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			・地域活動に積極的に参画している			4					11		14	15		17		
35	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ			・環境整備や社内の食事会において、地域の原材料を優先利用するよう心にしている					8	9	11	12	13						

36	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本		・経営理念や人事ポリシー、コア・バリューを明文化。経営トップが従業員に対し、直接共有する機会を積極的に設けている						8	9						17
37	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確實に遵守する体制・仕組みを構築している	基本		・法令順守の重要性を、全従業員に向けて発信している													16
38	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本		・経営トップを中心とした体制を整備している													16
39 組織体制	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本		・適宜ステークホルダーと対話をし、自社活動のステークホルダーへの影響を把握、課題が発生した場合には具体的な改善に努めている												16	17
40	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定・評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ		・経営トップ・マネージャーを中心に、リスクの洗い出しを行い、適切な対策を講じている													16
41	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的责任）の考え方に基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】	・議論、検討を進める													16
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	【予定】	・災害時を想定した安全確保のルールを策定している ・事業継続計画は今度議論、検討を進める						9	11	13	13.1				16
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	【予定】	・議論、検討を進める						8	9						17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
【家事労働の認識・評価】 ・家事労働と仕事の両立がしやすい環境の整備に取り組んでいる		・ワークイフバランスや子育ての相談ができるよう、保育士や保健師による相談窓口を設置している ・産休・育休制度を完備。安心して復帰できる環境づくりを行っている				5.4													
【自己啓発の支援】 ・個々の特性を理解する取り組みを実施し、自身のキャリアに活用するサポートを行っている		・キャリア選択において大事にしたい価値観を知る「キャリア・アンカー」診断テスト、自己理解を深めるための「クリフトンストレングス」診断テストを実施 ・クリフトンストレングスを活用した1on1の実施		4.4				8.5											

【記載留意事項】
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合は「選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・【具体的な取組】には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
（※職場いきいきアドバイスカレーニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぱし認定、循環型社会形成推進労働者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県農産物CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

○ この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成

○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当たる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当たる場合は、赤字で番号を記載

○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載

※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定